

人権蹂躪の根源に基地撤去を

共産党
抗議・申し入れ



沖縄での米兵による少女暴行事件について政府に抗議・申し入れを行う（左から）赤嶺、小池、山添の各氏。6月26日、参院議員会館

県民の命より日米同盟優先

沖縄少女暴行事件に関し、共産党国会議員団は6月26日、政府に抗議と緊急の申し入れを行いました。小池晃書記局長は、「被害者の人権と尊厳を踏みにじる卑劣な蛮行だ」と抗議しました。赤嶺政賢衆院議員、山添拓参院議員が同席。

抗議文は、政府が事態を把握していたにもかかわらず、沖縄県側に一切明らかにされていないことを指摘し、

「国民の命と安全に関わる問題であるにもかかわらず、日米安保体制の維持を最優先にし、事実を隠蔽しようとする姿勢は断じて容認できない」と批判。「政府は人権蹂躪の根源である米軍基地の縮小・撤去、日米地位協定の抜本改定に取り組むべきである」と求めています。その上で被害者の保護と完全な補償など5点を申し入れました。

折り返し

政府が情報隠し繰り返す



沖縄米兵少女暴行

卑劣な蛮行 5月にも女性



取材に応じる玉城デニー知事。沖縄県庁

罪が再び発覚した。断じて許せるものではなく、強い憤りを禁じ得ない」(6月28日)と語りました。

米軍嘉手納基地（沖縄県嘉手納町など）所属の空軍兵の男（25）が昨年12月、16歳の少女を車で連れ去り自宅で性的暴行、5月には在沖米海兵隊の男（21）が読谷村で性的な目的で暴行一。繰り返される米兵による犯行に県民の怒りが沸騰。玉城デニー知事は「非人道的で卑劣な犯

いずれの事件も地元メディアの報道で発覚しました。政府はこれまで米軍関係者による重大犯罪が発生した際、県に通報してきました。ところが昨年12月の事件では6カ月間、5月については1カ月超も隠ぺいしました。

日本共産党

県議選のためか？

政府は隠蔽の理由の説明を避けていますが、時系列で見ると日米両政府の共謀、特に6月16日投開票の県議選への影響回避するため

に隠したとの疑念はめぐえません。23年12月 少女暴行事件→同28日 辺野古新基地代執行→4月10日 日米首脳会談→5月 女性暴行→6月16日 沖縄県議選投開票。

総選挙 近畿の比例名簿掲載予定者

日本共産党



元参議院議員 新 たつみやま たくひろ



党本部副委員長 新 堀川 あきこ (京都2区補選)



衆議院議員(期前) 清水 ただし (大阪4区補選)



党兵庫県常任委員 新 こむら つね彦 (兵庫8区補選)

制度解説

衆院選挙 投票方法

比例代表は「**日本共産党**」と書きます
選挙区は「候補者の名前」で

政党名を
と書きます

衆議院比例代表は政党名で投票します。参議院と違い個人名は無効です。



▲紹介動画

近畿民報

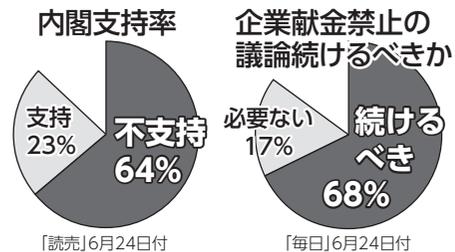
2024年7月No.1(第608号)
発行/日本共産党国会議員団
近畿ブロック事務所

〒537-0025 大阪市東成区中道1-10-10ホクシンビル102号
Tel.06 (6975) 9111 Fax.06 (6975) 9115
Eメール: jcpkinki@cronos.ocn.ne.jp

※日本共産党は以上の見解を発表しました。

国民の「退場せよ」

岸田内閣 支持率最低更新



各紙の世論調査で岸田政権の支持率は過去最低を更新。共産党の小池晃書記局長は「(支持率が)上向く要素は何もない」「(国民の意思は)政権に退場せよということだ」と強調しました(6月24日)。「読売」(6月21～23日調査)で

支持率は、政権発足後最低の23%。前回調査(5月17～19日実施)の26%から3ポイントの減少。「毎日」(6月22、23日調査)でも17%へと3ポイント下落。3月調査以来の10%台に。先の通常国会で共産党など野党が主張した企業・団体献金禁止については、国会で「議論を続けるべき」は68%と7割に迫りました(「毎日」調査)。

日本共産党

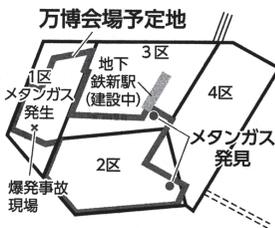
万博 開催ありき 爆発の危険残ったまま

ガス対策

万博協会は万博会場建設現場でガス爆発事故

(3月)を引き起こしたメタンガスなどに関する「安全対策」を発表しました。極めて限定した場所でのガス濃度測定や換気を行うだけ。“開催ありき”で爆発の危険は残されたままです。

とりわけ主会場となるパビリオン工



万博協会が認めた天井部分の損傷(写真は万博協会提供)

区での対策は、測定エリアがこれまでにガスが検知された地下鉄工事上部エリアなどに限定されており、対応策もマンホールへの通気孔の設置やふたの開放、ガスが検知された箇所での換気などに限られています。

東京知事選 7日投票

蓮舫さん激しく追いつげ

裏金自民に 審判を



声援にこたえる蓮舫氏。6月30日、東京都中央区

東京都知事選(7月7日投票)で、蓮舫氏(前参院議員)が現職の小池百合子氏を激しく追いつけています。市民と野党の共闘・「オール東京」の蓮舫氏か、裏金自民党と二人三脚の小池都政か—対決構図は鮮明です。裏金2700万円を手にした自民党・萩生田光一東京都連会長は小池氏を全面支援し、小池氏は「大変心強い」と表

明。討論会で蓮舫氏は、政治資金パーティーを開いてきた小池氏に「神宮外苑の再開発事業者にパーティー券を購入してもらったのか」と質問。小池氏は何度聞かれてもノーとは言えませんでした。日本共産党は蓮舫氏勝利で、“裏金自民党に厳しい審判を”“開発優先から、都民の負担と不安を減らす新しい都政を実現しよう”と訴えています。

蓮舫氏

国会で裏金事件を徹底追及。「政官業の癒着が疑われてはいけない。知事として政治資金パーティーは開かない」と公約

学校給食無償化、都独自の奨学金、奨学金返済支援。都庁舎など照らすプロジェクトに48億円ではなく家賃補助に。公契約条例で都と契約する事業者にも働く人の待遇改善を要請、非正規の都職員の本社員化。

裏金問題

裏金事件の中心議員、自民党・萩生田光一都連会長が全面支援。小池氏は「大変心強い」「自民党との連携が必要」と表明。裏金問題を都議会で問われても企業・団体献金禁止を一切口にせず

くらし

財政力があるのに国民健康保険料(税)を大幅値上げし保険料が全国一に。都営住宅の新規建設25年間でゼロ。都立・公立病院の独立行政法人化を強行し19病棟・629床を休止。スクールカウンセラー250人雇い止め

小池百合子氏